

読書の小径

こみち

No.69



松本清張

市図書館 ☎ 1253

2月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

※ が休館日です

開館時間

火～金曜日……………10:00～19:00
土・日曜日、祝・休…10:00～17:00

※図書館のご利用は無料です

今年松本清張生誕百年で

す。1909年、現在の北九州市に生まれた清張（本名「

きよはる）は、生家が貧しかったために高等小学校卒業後、給仕、版工などの職に就きました。1950年、朝日新聞社広告部に勤めながら書いた処女作「西郷札」が、『週刊朝日』の「百万人の小説」に入選。1953年には「或る」

『小倉日記』伝」が芥川賞を受賞し、以後、作家活動に専念します。42歳という作家としては遅いスタートでしたが、1992年82歳で没するまで、その作品は長編、短編ほか合わせて千編を越え、国民的作

家として広く活躍しました。

1944年、一家7人を支える中年版下職人であった清張は召集され、生活の手段を持たない家族を残す不安と、なぜ自分なのかという疑問を胸に戦地へ向かいます。意外な赤紙の裏事情とは？森史朗

『松本清張への召集令状』は、担当編集者だった著者が、作家が多くを語らなかつた体験に迫ります。

藤井淑禎『清張ミステリーと昭和三十年代』。清張の小説は、人間と社会・時代を描くことで従来の推理小説とは一線を画した「社会派推理小説」と呼ばれました。その作

品にまたとない題材を提供したのが、日本が大きく変化した高度成長期でした。作品はたぐいまれなりアリティーを獲得し、また昭和30年代という転換期は作中に鮮やかにその姿をとどめることとなりました。

別冊太陽『松本清張「昭和と生きた、最後の文豪」』。推理小説から昭和史・古代史まで、清張の人と作品をビジュアルで紹介しています。

松本清張の本は図書館でも多く所蔵していますが、書架に出ている分は少いです。カウンターでお尋ねください。



2月

催し物だより

陶史の森 ナチュラルセンター ☎ 5144

シイタケ教室

日時 2月1日(日)

午前9時～11時30分

(雨天実施)

内容 ほだ木にシイタケ菌を打ち、育て方を学ぶ。

対象 家族・一般

※事前に申し込みが必要。また、当日は金づちと軍手をお持ちください。なお、ほだ木は1家族1本です。



バードウォッチング

日時 2月22日(日)

午前9時～11時30分

(雨天中止)

内容 厳冬の野鳥観察

対象 家族・一般

★陶史の森の催しは、お一人でも参加できます。ただし、低学年児童は、親子でご参加ください。



イカル 〆(アトリ科)
大きな黄色のくちばしを持ち、飛ぶと翼の白ぶちが帯になって見える。
「キョッキョッキョ」と鳴くが、時には「キココキキー」と澄み切った声でさえずる。

お願い 陶史の森は、動植物を保護しています。山野草やミズゴケなどを絶対に採らないでください。また、陶史の森およびせせらぎ公園へのペットの立ち入りはご遠慮ください。